

栄えある受賞 おめでとうございます

瑞宝双光章 消防功労

前田 益稔 さん(65)
鳥羽三丁目
元 鳥羽市消防司令長



消防職員として長年にわたり危険性の高い業務に従事され、平成31年から消防長も務められ、消防力の強化・充実に尽力されました。

受賞の声

このたび危険業務従事者叙勲の栄を賜り、誠にありがとうございました。

この章を戴けたのも、指導をしてくださった諸先輩がたをはじめ、各業務遂行に協力してくれた同僚や後輩、そして陰で支えてくれた家族を含むすべてのかたがたを代表しての受章であると思っています。お世話になったみなさまに心から感謝を申し上げます。

空中からの情報収集に関する協定を締結



4月20日、中日本航空株式会社三重支店と、災害時における空中からの情報収集に関する協定を締結しました。

この協定により、災害発生時に同社が保有する航空機を活用し、空から画像・動画撮影、さらにはレーザー測量による詳細なデータ提供を迅速に受けることが可能になります。

同社の鈴木常務取締役は「災害時にいち早く情報を共有することで、鳥羽市のみなさんが安心して暮らせるよう協力していきたい」と力強く話してくれました。

GWは「駅ボラ」で鳥羽のおもてなし



5月3日～5日の3日間、鳥羽駅ボランティアガイド（通称：駅ボラ）が実施され、9歳から85歳までの36人がボランティアとして参加しました。

初参加のボランティアは事前に研修を受け、当日は鳥羽駅周辺にて観光案内のほか、車いすやベビーカーの貸し出し、身体の不自由なかたのサポートなどを行いました。ボランティアに参加したかたは「観光客のかたとお話ができて楽しかった」「思い出に残る旅のお手伝いできていれば嬉しい」と話してくれました。

いのち
生命の駅伝ランナーがひだまりを訪れました



5月21日、第32回生命の駅伝のランナーが保健福祉センターひだまりを訪れ、鳥羽市子育て応援キャラクタージュジュや職員らが拍手で出迎えました。

生命の駅伝は三重県全市町を走りながらがん研究の支援を呼びかける活動であり、ランナーとして参加した大野副市長が鳥羽市で集まった募金を贈呈しました。

大野副市長は「がん研究の発展を願い、ランナーの無事完走を応援します」と述べました。